

取扱説明書

WAVE ファイル再生ボード WAV580B-R (255CH-シリアル制御タイプ)

UM-WAV580BR_C051122

このたびは、CF カード対応 WAVE ファイル再生ボード WAV500 シリーズをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本機の優れた機能をご理解頂き、未永くご愛用頂くためにも、この取扱説明書をよくお読み下さい。

目次		
	困った時に (トラブルシューティング)	2
1	概要	3
2	特長	3
3	主な用途	3
4	登録時間と再生時間	3
5	標準仕様	4
6	外觀図並びに外形寸法図	5
7	各部の名称と機能	5
8	付属品・オプション	6
9	コネクタピンアサイン	6
10	使用電源	7
11	音量調整	7
12	入出力信号	8
13	接続	8
14	ジャンパーピンの設定	8
15	モードスイッチ (再生モード・タイマー・その他) の設定	9
16	制御方法-シリアル制御	10
17	適用メモ리카ード	11
18	適用カードデータと WAVE ファイル形式	12
19	データ入り CF カードの作成・コピー	12
20	音声データのアドレス登録について	13
	接続参考図 シーケンサ等との接続, バイナリ接続	13

	<p>ご注意</p> <p>水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないで下さい。火災、故障、感電の原因になります。定格範囲外で使用されますと、故障が起きたり、十分な機能が発揮できないことがあります。接続、カードの挿入・交換、各種設定・変更の際は、感電事故を避けるため、必ず、電源を切ってから行って下さい。</p>
---	--

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒389-1102 長野県長野市豊野町大倉 3 5 0 0 - 1 7

<http://www.voicenavi.co.jp>

困った時に (トラブルシューティング)

電話で多い 問合せ	まったく、再生しない	カードデータファイル「xxxx .wpj」がコピーされていない。 WAVE ファイル「xxxx .wav」がコピーされていない。
	再生しないWAVE ファイルがある	その WAVE ファイルがコピーされていない。 拡張子が .wav ですが実際は形式が違うファイルや、ある録音ソフトで録音した WAVE ファイルは WAV シリーズで再生できないものがあります。 WindowsOS アクセサリのサウンドレコーダー等で開き、別のファイル名で保存し、VoiceNaviEditor で登録して下さい。

再生しない場合の簡単なチェック方法	カードデータファイル .wpj の有無 WAVE ファイル .wav の有無	
VoiceNaviEditor バックがある場合	メッセージ・接点端子の割付け WAVE ファイル.wpj の試聴 レポート印刷	CF カード内のデータを、事前に VoiceNaviEditor CardData フォルダに収納するフォルダを作成してコピーします。 コピー後、VoiceNaviEditor を起動し、WAVE ファイル登録画面でカードデータファイル.wpj を読み込み、画面表示、印刷、試聴して登録内容を確認します。

困った状態	LED表示	原因	対処方法
電源 LED が点灯しない	POWER の LED が点灯しない	電源が接続されていない	接続を点検し、接続します。
		極性が間違っている	接続を点検し、接続します。
再生しない接点・アドレスがある		接続ミス	接続参考図を参照の上、コネクタの接続を点検し、再接続
	PLAY の LED が点滅 *1	その接点・アドレスに対応した WAVE ファイルがない	カードにコピーした際、漏れが生じたので、その WAVE ファイルをコピーします。
まったく再生しない	PLAY の LED が点滅 *2	CF カードがフォーマットされていない	1 2 項を参照の上、CF カードをフォーマットし、データ (wpj ファイル、WAVE ファイル) をコピーします。
	PLAY の LED が点滅 *2	カード内にカードデータファイル (xxx.wpj) がない	VoiceNaviEditor でカード内の .wpj ファイルを読み込み、レポート出力して確認。データファイルがない場合、VoiceNaviEditor で作成し、コピーします。
	PLAY の LED が点滅 *1	WAVE ファイル (xxx.wav) がカード内にない	VoiceNaviEditor でカード内の .wpj ファイルを読み込み、レポート出力して確認。ない場合、WAVE ファイルをコピーします。
		音量ボリューム「小」	再調整
		接続ミス	コネクタの接続を点検し (特に COM 端子部)、再接続
		再生モード設定ミス	再生モードを確認し、再設定
再生するが、時々、リセット状態		タイマーモード設定ミス	タイマーモードを確認し、再設定
		ノイズ等で CPU 暴走	マイコン内臓のウォッチドックタイマー自己復旧しているが、電源ライン、信号ライン近辺に存在するモーター等のノイズ源に対しノイズ対策します。
入力接点と再生する内容が合っていない。		設定ミス	VoiceNaviEditor でカード内の .wpj ファイルを読み込み、レポート出力して確認。再設定、カード作成し、コピーします
組立再生しない、順序が違う		接続ミス	コネクタの接続を点検し、再接続
リピート回数再生しない、回数が違う		設定ミス	VoiceNaviEditor でカード内の .wpj ファイルを読み込み、レポート出力して確認。再設定、カード作成し、コピーします
CF カードがカードコネクタの奥まで入らない		挿入方向違い	挿入方向を確認し、再挿入

(注) * 1 再生の起動時に PLAY の LED が点滅します。STOP 入力にて消灯します。

* 2 PLAY の LED が点滅した状態で、再生起動を行うと ALARM の LED が点灯します。

1.概要

WAV580B-R は、音源に「WAVE ファイル」、記憶媒体に Flash カード「コンパクトフラッシュ」採用、フォトカプラ入出力、電源ラインのノイズ対策をした< F A仕様 >、音声データ登録最大 255CH - RS-232C シリアル制御、5W アンプ搭載の WAVE ファイル再生ボードです。

WAV200B-RS の後継機 (サイズ・コネクタ・データ互換)
6650V5 の後継機 (サイズ互換)

2.特長

DC + 24V / 12V-2 電源対応
170W × 120D × 27Hmm
WAV200B-RS の後継機 (サイズ・コネクタ・データ互換)
6650V5 の後継機 (サイズ互換)
5/1Wmax.8 スピーカーアンプ装備
外部音量ボリューム接続対応
WAVE ファイル 44.1/22.05/11.025KHz 16/8Bit Mono
CF カード採用 32/64/128/256MB
登録時間 44 分 max.(256MB 44.1KHz 16Bit 時)
255 CH - RS-232C シリアル制御
エディタソフト VoiceNavi Editor 対応
<テキスト入力> 音声データ作成ソフト VoiceNavi Announcer 別売
スタジオ録音・WAVE ファイル・カード作成サービス
WRX7000 シリーズを録音ツールに使用できます。

3.主な用途

クライアント・製品別の対応が要求される分野
・駐車場管理受付 ・入退室管理
・券売機・精算機 ・食券券売機 厨房用音源

シリアル通信仕様機器の音声ガイダンス・警報
・制御盤の音声警報
・各種産業機器の音声警報・ガイダンス

WAV200B-RS の後継機 (サイズ・コネクタ・データ互換)
・カードデータは完全互換です。
(注)一部の再生モードは搭載されていません

6650V5 後継機 (サイズ互換)
・カードデータは完全互換です。
(注)一部の再生モードは搭載されていません

4.登録時間と再生時間

【登録時間】 サンプリング周波数・カード容量による。 単位 :分 max.

カード容量	44.1KHz		22.05KHz	
	16Bit	8Bit	16Bit	8Bit
32MB	5.6 分	11.2 分	11.2 分	11.2 分
64MB	11.2 分	22.4 分	22.4 分	22.4 分
128MB	22.4 分	44.8 分	44.8 分	44.8 分
256MB	44.8 分	89.6 分	89.6 分	89.6 分

【再生時間】

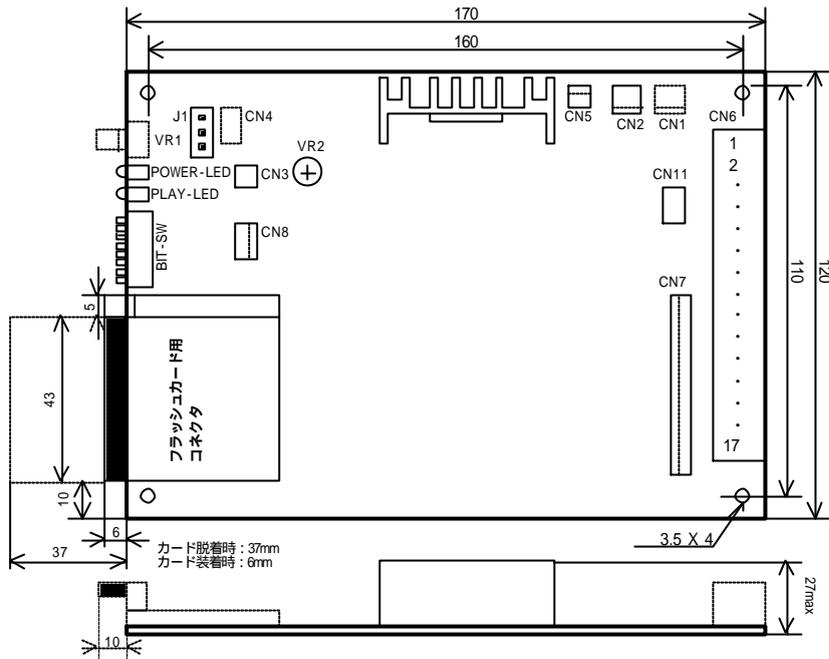
下記の機能を使用しない場合	登録した WAVE ファイル時間
登録エディタ VoiceNavi Editor 上でプログラム登録してある場合	組立再生登録・リピート回数登録内容による

5.標準仕様

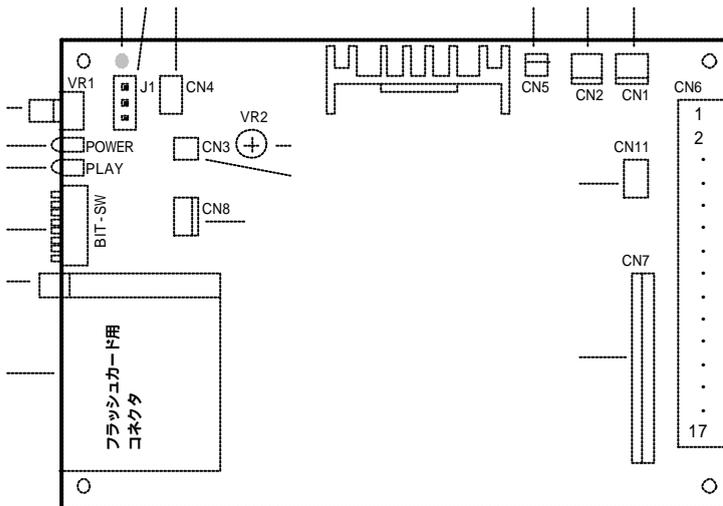
(注) スクリューレス端子台-当社都合により実装される場合があります

定格使用電圧	DC+24V±5% または DC+12±5%																	
消費電流	DC+24V時 待機時 約75mA 最大時 約460mA DC+12V時 待機時 約70mA 最大時 約220mA																	
寸法・重量	170W X 120D X 27H mm 突起部含まず 約300g																	
使用環境	- 5 ~ 55 35% ~ 80%RH (但し結露なき事) (保存時) - 10 ~ 70																	
再生方式	WAVE ファイル (注)16Bit データはソフト処理で再生 44.1/22.05/11.025KHz 16/8Bit モノラル 32/16/12.8/8KHz 16/8Bit モノラル																	
再生帯域	300Hz~ 10KHz																	
制御方式とチャンネル数	シリアル制御 (RS232C) 255CHmax. 組立再生バッファ (1 フレーム) : 10CH max 再生中受信バッファ : 20 フレーム max. 非同期式 全二重 9600bps IN /STOP 無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ OUT /BUSY オープンコレクタ出力 (DC+35V,500mA)																	
適用メモリカード	Flash カード「コンパクトフラッシュ」 32/64/128/256MB 1枚 max. (注)メーカー 型式指定 メレコ RCF-X**MY IO データ CFS- **M (HI)または相当品																	
登録時間	カード容量とWAVE ファイルのサンプリング周波数による 44分 max. (256MB 44.1KHz 16Bit Mono 時) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">カード容量</th> <th colspan="2">通常</th> </tr> <tr> <th>44.1KHz 16Bit</th> <th>22.05KHz 16Bit</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32MB</td> <td>5.6 分</td> <td>11.2 分</td> </tr> <tr> <td>64MB</td> <td>11.2 分</td> <td>22.4 分</td> </tr> <tr> <td>128MB</td> <td>22.4 分</td> <td>44.8 分</td> </tr> <tr> <td>256MB</td> <td>44.8 分</td> <td>89.6 分</td> </tr> </tbody> </table>	カード容量	通常		44.1KHz 16Bit	22.05KHz 16Bit	32MB	5.6 分	11.2 分	64MB	11.2 分	22.4 分	128MB	22.4 分	44.8 分	256MB	44.8 分	89.6 分
カード容量	通常																	
	44.1KHz 16Bit	22.05KHz 16Bit																
32MB	5.6 分	11.2 分																
64MB	11.2 分	22.4 分																
128MB	22.4 分	44.8 分																
256MB	44.8 分	89.6 分																
再生時間	登録 WAVE ファイル合計時間 またはエディタソフトVoiceNavi Editor 上でプログラム登録した場合、その内容による																	
音声出力	スピーカ出力 DC+24V時 5Wmax. 8 DC+12V時 1Wmax. 8 LINE出力 600 不平衡 ?6.5dBm ~ 1.5dBm (出荷時 0dBm 固定)																	
音量調整	1.半固定 VR (ボード上) 2.外部 VR 接続対応 (注)JP による半固定 VR と外部 VR 接続との切替 3.外部接点端子による3段階音量切替 (メイン音量は半固定 VR による) 大 メインVR 中 大×1/2・約-6dB 小-大×1/5・約-14dB 4.コマンド制御による3段階音量切替・保持 (メイン音量は半固定 VR による) FBH - 中(大×1/2・約-6dB) FCH-(大×1/5・約-14dB) FDH - (大・半固定 VR と同一) (注)電源OFF の場合でも、設定レベルを保持します。																	
付属品	CK-WAV580B 電源/SP/制御用 CK-W2RS RS-232C 用																	
オプション	Flash カード「コンパクトフラッシュ」 32/64/128/256MB CK-VER3 外部 VR 用コネクタケーブル (シールド)1m CK-VR3G3 外部接点端子3段階音量切替用 1m CK-LER2 LINE 用コネクタケーブル (シールド) 1m エディタソフトVoiceNavi Editor テキスト入力音声データ作成ソフト VoiceNavi Announcer																	

6. 外観図並びに外形寸法図 (注) スクリューレス端子台-当社都合により実装される場合があります



7. 各部の名称と機能



No	名称	内容
①	コネクタ (CF カード用)	CF カード実装用コネクタ
②	カードエジェクトボタン	CF カード取り出し用ボタン
③	MODE SW	再生モード, タイマー値等設定用
④	PLAY LED (緑色)	再生中点灯 並びに各種状態時に点滅
⑤	POWER LED (緑色)	電源オン時点灯
⑥	VR1	スピーカ出力用ボリューム
⑦	ALM LED (赤色)	CPU 異常時点灯 (電源オフにて消灯)
⑧	J1	SP 用ボリュームの内部/外部設定用ジャンパー
⑨	CN4	外部ボリューム用コネクタ
⑩	VR2	ライン出力用ボリューム
⑪	CN3	ライン出力用コネクタ
⑫	CN8	SP 出力の減音用コネクタ (現音量の1/2, 1/5 の選択)
⑬	CN5	SP 出力用コネクタ
⑭	CN1	本体電源用コネクタ
⑮	CN11	RS-232C 用コネクタ
⑯	CN7	制御用コネクタ

8. 付属品・オプション

[付属品]

	ケーブル型名	CN	コネクタ仕様(基板側)	線材仕様・線長
付属品	CK-W2RS	CN11	日圧 / B3B-EH	3線シールド線 1m
付属品	CK-WAV580B	CN1	日圧 / B2P-VH	AWG20(UL1007)相当品 1m
		CN5	日圧 / B3P-SHF-1AA	AWG22(UL1007)相当品 1m
		CN7	日圧 / B16P-SHF-1AA	AWG22(UL1007)相当品 1m

[オプション]

	ケーブル型名	CN	コネクタ仕様(基板側)	線材仕様・線長
オプション	CK-VER3	CN4	日圧 / B3B-EH	3線シールド線 1m
オプション	CK-LER2	CN3	日圧 / B2B-EH	2線シールド線 1m
オプション	CK-VR3G3	CN8	日圧 / B3P-SHF-1AA	AWG22(UL1007)相当品 1m

9. コネクタ

(注) スクリューレス端子台-当社都合により実装される場合があります・・・使用できません

CN No.	PIN No.	I/O	説明	備考
CN7	1		COM	付属品 CK-WAV580B
	2	I	NC	
	3	I	NC	
	4	I	NC	
	5	I	NC	
	6	I	NC	
	7	I	NC	
	8	I	NC	
	9	I	NC	
	10	I	/STOP	
	11	I	NC	
	12	O	/BUSY	
	13	O	/ALM	
	14		COM	
	15		COM	
	16		COM	
CN4	1		外部 VR-1	オプション CK-VER3
	2		外部 VR-2	
	3		外部 VR-GND	
CN3	1		LINE OUT +	オプション CK-LER2
	2		LINE OUT -	
CN5	1		スピーカー出力+	付属品 CK-WAV580B
	2		スピーカー出力+	
CN8	1		1/2 減音	オプション CK-VR3G3
	2		1/5 減音	
	3		GND	
CN11	1	I/O	TxD 送信	付属品 CK-W2RS
	2		RxD 受信	
	3		GND 信号用 GND	
CN1	1		DC+24(12)電源入力 +	付属品 CK-WAV580B
CN2	2		DC+24(12)電源入力 -	

[適応コネクタ一覧表]

コネクタ No	基板側コネクタ	ケーブル側コネクタ	適合コンタクト
CN1,CN2	日圧 / B2P-VH	日圧 / EHR-2	BVH-21T-P1.1
CN7	日圧 / B16P-SHF-1AA	日圧 / H16P-SHF-AA	BHF-001T-0.8BS
CN4	日圧 / B3B-EH	日圧 / EHR-3	BEH-001T-P0.6
CN8	日圧 / B3P-SHF-1AA	日圧 / H3P-SHF-AA	BHF-001T-0.8BS
CN3	日圧 / B2B-EH	日圧 / EHR-2	BEH-001T-P0.6
CN5	日圧 / B2P-SHF-1AA	日圧 / H2P-SHF-AA	BHF-001T-0.8BS

10. 使用電源

安定化 低ノイズのDC+12Vまたは DC+24V 電源をご使用下さい。

使用電源	電圧範囲	消費電流		備考
		待機時	動作時	
DC 電源	DC+24V±5%	約 75mA	約 460mA	SP アンプ出力 5Wmax.8
DC 電源	DC+12V±5%	約 70mA	約 220mA	SP アンプ出力 1Wmax.8

11. 音量調整

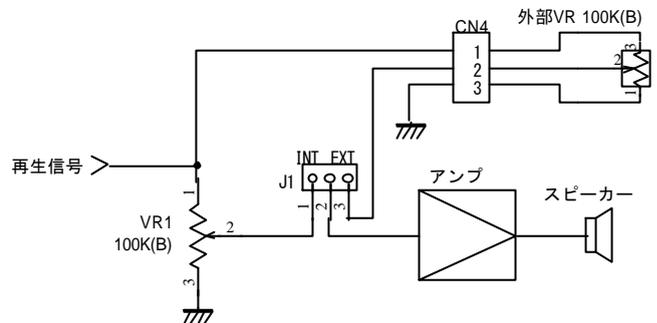
WAV580B-R はスピーカー出力の音量調整をボード上の半固定ボリューム、外部接続の可変ボリューム、外部接点端子による3段階音量切替、制御コマンドによる3段階音量切替ができます。

【本体上の半固定ボリュームによる】

ジャンパーピン J1 (内部 VR と外部 VR の設定) を内部VR に設定。

【外部音量ボリュームを接続する場合】

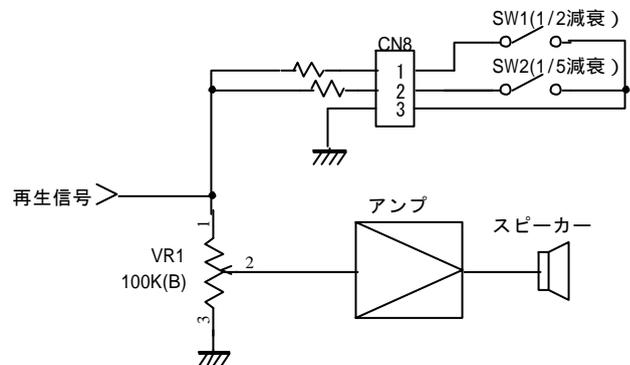
ジャンパーピン J1 (内部 VR と外部 VR の設定) を外部VR に設定。オプション CK-VER3 に可変ボリューム 100K (B) を接続します。



【外部接点端子による3段階音量切替】

オプション CK-VR3G3 にスイッチ等を接続します。メイン音量はボード上の半固定ボリューム (外部 VR 使用の場合のその VR) で調整できます。

SW1	SW2	音量
OFF	OFF	大 半固定 VR と同一
ON	OFF	中 (大の 1/2)
ON	ON	小 (大の 1/5)

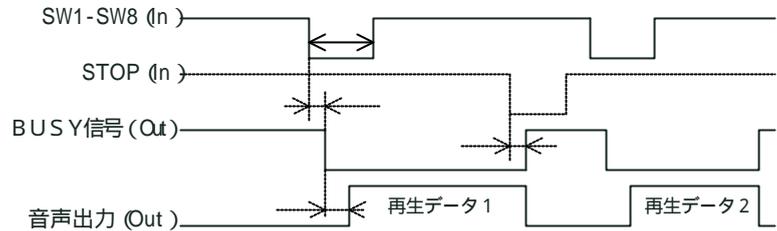


12. 入出力信号

信号名	ホスト側	内容	パルス幅
/STOP	OUT	無電圧メーク接点またはNPN オープンコレクタ	50mS 以上
/BUSY	IN	オープンコレクタ DC+50V 500mA	

■信号のタイミング

No.	信号名称	時間
	SW 入力時間	50ms min.
	BUSY 出力タイミング	50ms max.
	音声出力タイミング	450ms max.
	音声終了タイミング	50ms max.



13. 接続

本書記載の「各部の名称・機能」「接続参考図」を参照し、接続して下さい。

No.	設定項目	内容
1	制御信号線の接続	付属品 CK-WR2 を使用してホストとシリアル接続します。 接続参考図参照 (クロスケーブル)
		必要に応じて BUSY、STOP を接続します。
2	SP 出力の接続	必要に応じて、定格5W スピーカーを接続します。 (注)定格 5W
3	DC 電源との接続	DC+24V もしくは DC+12V を接続します
4	データ入り「CF カード」のセット	Windows 上でフォーマット(初期化)し、カードデータファイル XXX.wpj と WAVE ファイル XXX.wav がコピーされたカード
5	各種設定	モードスイッチで、再生モードをセットします。
6	音量調整	スピーカー出力は音量調整ボリュームを調整 ライン出力は装置内ボード上の半固定ボリュームを調整 (-6dBm ~ 2dBm) (注)再生モード 手動テストモード MODE2 1ON 状態で調整

注	<p>接続する場合、必ず電源を切って下さい。 DC 電源には+ - の極性がありますのご注意下さい。 信号入出力、スピーカー出力端子、ライン出力端子には電圧を印加しないで下さい。 電圧変動が激しい電源や、ノイズ・サージを多く含む電源は使用しないで下さい。 信号入出力、SP、LINE の配線はできる限り短くして下さい。高圧ケーブルとの併設は避けて下さい。 必要に応じてシールド線等をご使用下さい。</p>
---	--

14. ジャンパーピンの設定

電源を切って設定して下さい。電源 ON 時、設定内容を識別します。

	SP 用 V R 内部使用時	SP 用 V R 外部使用時
J1	 EXT INT	 EXT INT

J1 の設定については、「11.音量調整」の項を参照

15. モードスイッチ(再生モード・その他)の設定

電源を切って設定して下さい。電源 ON 時、設定内容を識別します。

No.	1	2	3	4	5	6	7	8
OFF ON	再生モード			未使用			PG ローダー 設定	未使用

【再生モードの設定】電源 ON 時有効になります。 …ON

DIP SW									
1	2	3	4	5	6	7	8	再生モード	
								1	シリアル制御 (RS-232C)
								2	予備

…ON

再生モードの説明

	モード	説明
1	シリアル制御 (RS232C)	組立再生バッファ (1 フレーム) : 10CH max 再生中受信バッファ : 20 フレーム max. 非同期式 全二重 9600bps IN /STOP 無電圧メーク接点またはNPN オープンコレクタ OUT /BUSY オープンコレクタ出力 (OC+35V,500mA)
2	予備	未使用

プログラムローダー

CF カードを使用して、<ユーザー> 仕様の再生モード・タイマーなどのプログラムを書き換えできます。

DIP SW 1									
1	2	3	4	5	6	7	8	プログラムローダー	
								1	書き込み無効
								2	書き込み有効

16. 制御方法 シリアル制御

本ボードのシリアル制御の場合、<組立再生>バッファを使用することにより、1CH (フレーム)、最大 10 データまでを組立再生できます。また、<再生中受信>バッファにより、最大20CHまで再生中でも受信できます。

再生チャンネル 1CH ~ 255CH。

<組立再生>バッファ: 1フレーム10 データmax。

<再生中受信>バッファ: 最大20個

再生中でも受信を行います。

再生順番は FIFO 形式とし古いデータより再生

受信バッファがフルで以降のデータは無効となり、バッファに5個の空きが生じると受信可能とします。

外部 STOP 信号入力もしくは FFh 入力にて再生を即停止し、受信バッファを全てクリアにします。

通信条件

通信方式	非同同期式 全2重
通信速度	9600bps
データ長	8 ビット
パリティ	non
ストップ	1 ビット
コード体系	ASK II

通信制御コマンド

コマンド	コード	定義
STX	02h	フレームデータの開始
ETX	03h	フレームデータの終了
ACK	06h	送信側に対する肯定的応答
NAK	15h	送信側に対する否定的応答
ENQ	05h	受信側に対する応答要求

他に強制停止 (バッファリセット) コマンドとして FFh があります
尚、強制停止については外部 STOP 信号入力にて可

フレームデータ送信フォーマット



- チャンネルデータは3コードで表す

例) 1CHと125CHの表示

1 (10進表示) -> 001 (10進表示) -> 30h30h31h (コード表示)

125 (10進表示) -> 125 (10進表示) -> 31h32h35h (コード表示)

- BCCの範囲はフレームデータからETXまでとする

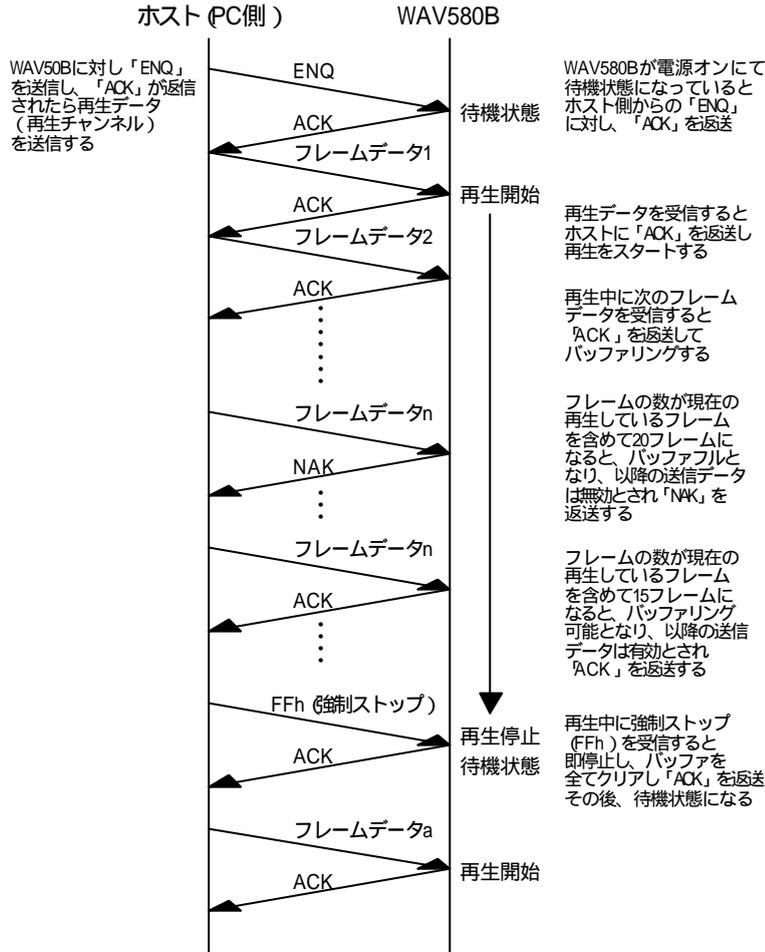
例) 1CHと15CHと125CHを送信

S	フレームデータ (最大10CH分)	E	B
T		T	C
X		X	C
02h	30h30h31h30h31h35h31h32h35h	03h	30h

	コード	バイナリ
1CH	30h	00110000
	30h	00110000
	31h	00110001
15H	30h	00110000
	31h	00110001
	35h	00110101
125CH	31h	00110001
	32h	00110010
	35h	00110101
ETX	03h	00000011
BCC	30h	00110000

BCCの算出は、バイナリに於いて
各ビットのEXORをとる

制御手順



注1. 「ENQ」を送信するのはWAV580Bが電源ONの起動時のみです。

注2. 「NAK」が返送されるのは、バッファフルの時と受信データにエラーが発生した時です。

17. 適用メモ리카ード

下記のメモ리카ードがご使用できます。下記以外のメモ리카ードは動作保証外になります。
動作検証したメモ리카ードのメーカー 型式はホームページ上に掲載していきます。

【指定 CF カード】 (注)ハギワラシスコム、東芝製の CF カードは使用できません。

カード容量	登録時間	メルコ	IO データ
	44.1/22.05KHz 時	OEM 元 日立製作所	OEM 元 日立製作所
32MB	約 5/11 分	RCF-X32MY	CFS-32M(HI)
64MB	約 11/22 分	RCF-X64MY	CFS-64M(HI)
128MB	約 22/44 分	RCF-X128MY	CFS-128M(HI)
256MB	約 44/88 分	RCF-X256MY	CFS-256M(HI)

(株)日立製作所、サンデスク社製もご使用できます。

(注)指定メーカー・型式以外のカードは動作保証外になります。

なお、カード本体の不良に関しては、当社では保証 対応していません。カードメーカーへ返却・修理願います。

【CF カードに関するトラブル】

CF カードの場合、スマートメディア・SD カードと異なり、完全な統一品ではありません。

これは主にカード内のカードコントロールLSI、Flash メモリに起因しています。

CF カードの大量購入する場合、必ず、動作確認の上、ご購入下さい。

VoiceNavi

- カードの脱着 必ず、電源 OFF 状態でカードの脱着を行って下さい
再生 / 録音中に行うと、カード内部が破損します。
- デジカメで使用したカードの場合 そのままでは使用できません。
【フォーマット】Windows パソコンで「フォーマット」処理をします。

18. 適用カードデータファイルと WAVE ファイル形式

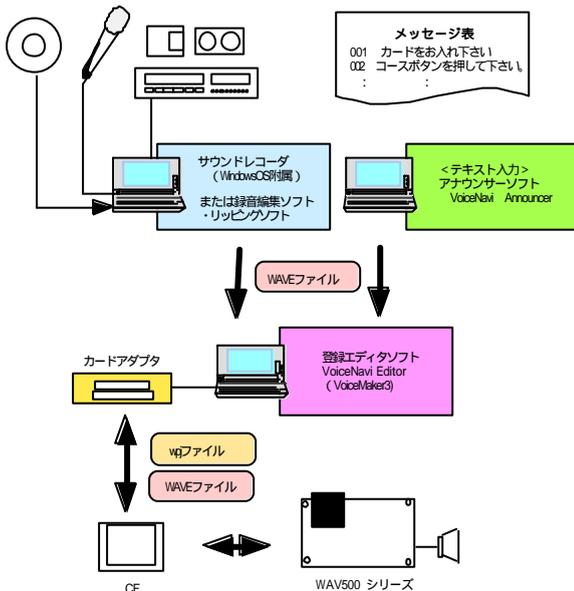
下記のカードファイルと WAVE ファイル形式が使用できます。

WAVE ファイル	44.1/32.0/22.05/11.025KHz 16/8Bit Mono 32/16/12.8/8KHz 16Bit Mono	・ステレオデータは使用できません ・日本語、ロングネームは使用できません
カードファイル	.wpj ファイル	登録エディタソフト VoiceNavi Editor(ボイスナビエディタ)で作成したカードデータファイル 6650 シリーズのデータをコンバートして使用する場合はモードCのみ有効です。

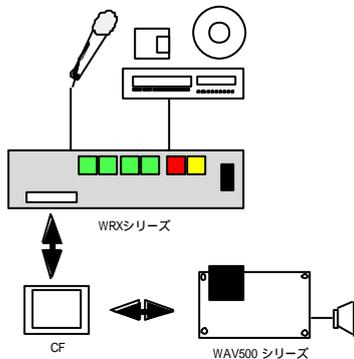
19. 音声データの録音または登録(カードデータ作成)

WAV シリーズは、自社録音または既存の WAVE ファイルを登録エディタソフトを使用してカードデータを作成する方法と WRX7000 シリーズを録音ツールとして使用する方法があります。

登録エディタソフト VoiceNavi Editor を使用する場合



WRX シリーズを録音ツールとして使用する場合



録音・WAVE ファイル作成

- 1.MD・DAT、マイクの場合
Windows パソコン上で録音・ファイル保存
- 2.オーディオ CD の場合
市販の録音編集ソフトまたはリッピングソフトで WAVE ファイルにリッピングし、保存します。
- 3.テキスト入力の場合
市販のテキスト音声変換ソフトまたは<テキスト入力>アナウンサーソフトで WAVE ファイル保存。

WAV500 シリーズ用カードデータの作成

登録エディタソフト VoiceNavi Editor で試聴しながら WAVE ファイル登録、アドレス・プログラム登録し、カードデータ作成します。(モードC WAV500 シリーズ用)

CF カードへコピー

作成したカードデータをカードアダプタ経由でコピーします。

録音

WRX7000 シリーズ本体で MIC またはライン入力録音します。

- WRX7200II 4CHmax
- WRX7700II 8CHmax.
- WRX7800II 16Chmax.

CF カードにはリアルタイムで PCM データで録音、WAVE ファイル形式で記録します。

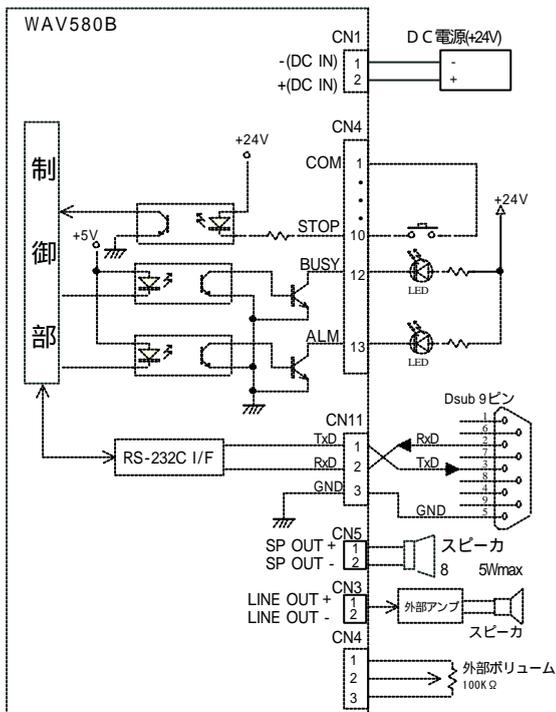
WRX シリーズで録音したカードデータも登録エディタソフト VoiceNavi Editor で読み込みできます。

また録音した CF カードのデータはパソコンで CD や DVD にバックアップして保存して下さい。

20. 音声データのアドレス登録について

ホスト側 シリアル制御 アドレス	WAV580B側	エディタソフト VoiceNavi Editor アドレス・プログラム画面						
		No.	R	SP	1	2	..	8
FEh	01h	001	1	1	A001	B002	C003	
FDh	02h	002	1	1	空き			
FCh	03h	003	1	1	A001	D001		
:	:	:	:		:	:		
:	08h	008	1	1				
:	09h	009	1	1				
:	0Ah	010	1	1				
:	0Bh	011	1	1				
C8h	37h	055	1	1	A001			
C7h	38h	056	1	1	E001	F002		
:	:	:	:	:	空き			
01 h	FE h	255	1	1	Z001			
FFh	FFh	制御コマンド再生停止						

接続参考図



[D-SUB コネクタと接続する場合]

(注) ホスト間のケーブルはクロスケーブルを使用
CK-W2RS に D-SUB コネクタを接続し、ケーブル(クロス)で接続します。

D - SUBコネクタ ヒロセ: HDEP - 9Pまたは相当品



(注)本書中記載の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒389-1102 長野県長野市豊野町大倉3500-17 TEL 026-268-3950 FAX 026-268-3105
URL <http://www.voicenavi.co.jp> E-mail info@voicenavi.co.jp